

SONY

ようこそ、新しい時代の医療映像へ

NUCLEUS

2019年夏 日本新登場

もはや常識となった手術映像の撮影収録
単なる録画管理にとどまらない
多様な用途が期待される
この分野の未来をソニーが創る
ヨーロッパで実績を重ねたスタンダードに
ソニーが映像分野で培ってきた
最新鋭の画像解析技術をプラス
必要なアプリケーションを組み合わせで進化する
全く新しい手術映像ソリューション

医療映像プラットフォーム NUCLEUS

IP (Internet Protocol) ネットワークを通じ、
手術室を含む院内の多様な機器からの医療映像データを
一元的に管理・活用することで、手術サポート、
ワークフローの効率化を実現する次世代型映像システムです。

- 術中の映像上にリアルタイムでさまざまな付加価値を提供
- 手術準備・機器メンテナンスの簡素化

[海外導入事例]

カロリンスカ大学病院
Karolinska University Hospital
(2019/8より導入予定)

ルーベン大学病院
UZ Leuven

NUCLEUSの紹介サイトはこちら
sony.jp/pro/nucleus/



リアルタイム配信で、離れた場所からでも状況確認、双方向コミュニケーション



スタッフステーション



医局



診察・執務室



研修講義室

NUCLEUS

別々の機器や手術室にまたがる、複数の高画質映像を効率的にマネージメント

手術室1



術中支援



スイッチング



録画アーカイブ



HIS/RIS連携

手術室2

手術室3

〔 ベーシック機能 (映像管理) 〕

映像
切り替え



録画・編集



ライブ配信

〔 アドバンス機能 (映像活用) 〕

手術映像の
付加価値化・リアルタイム活用

特長①

術中の映像上にリアルタイムで
付加価値を提供するアプリケーション



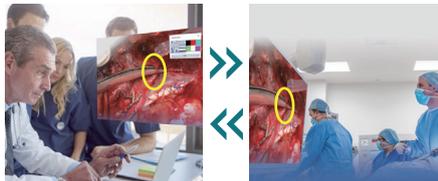
回転補正

執刀医の視線を一定に保てるよう
自動補正した映像表示

内視鏡のスコープが回転した状態でも、安定した視野を確保し、術者の負担を軽減します。

ソフトウェアプラットフォーム上で、新たなアプリケーションの追加が可能。
機器の交換をすることなく、常に最新の機能を利用できます。

※アプリケーションは順次追加予定



テレプレゼンテーション

手術室内と手術室外をつなぐ、
双方向コミュニケーション

手術室外にいる指導医が直接、映像上にリアルタイムに
アノテーションを行うことが可能で、音声・映像の
両方によるアドバイスにより、執刀医をサポート
します。また研修医の教育にも有用です。

特長②

IP化により、複雑な配線環境をシンプルにし、
機器メンテナンスの負担も軽減



配線が統一化されることで、さまざまな映像機器を
準備する際のスタッフの負担を軽減します。さらにIP
コンバーターに入出力されている映像情報のリモート
管理が可能のため、メンテナンスにかかる時間も
減らせます。

⚠ 安全に関する注意

商品を安全に使うため、使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

商品使用上の注意 ●本製品は医療機器ではありません ●使用環境によっては、本機の動作の精度が完全に出ない場合があります **カタログ上の注意** ●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります ●カタログと実際の商品の色とは印刷の関係で、多少異なる場合があります ●使用シーンの写真はイメージです ●機能説明の写真はいずれも機能をわかりやすくするため、写真を加工したイメージです **商標について** ●SONY、NUCLEUSはソニー株式会社の商標です

ソニーウェブサイト

sony.jp/pro/

本カタログは環境に配慮した植物油インキを使用

※特定市場向け商品などソニーウェブサイトに掲載していない商品もあります

ソニー株式会社

ソニービジネスソリューション株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

URL <http://www.sonybsc.com>

購入に関するお問い合わせ

業務用商品購入相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-580-730

受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

製品に関するお問い合わせ (使い方、故障診断など)

フリーダイヤル ☎ 0120-788-333 携帯電話・PHS・一部のIP電話からは050-3754-9550

受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

2019.07

カタログ記載内容2019年7月現在